

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
 神山哲太郎・大西 厚子

■ 一般質問・決算審査
 特別委員会質問など(抜粋)

【神山 哲太郎 議員】



「駅前及び商店街等の活性化について」質問し、イベントへの協力依頼、市民・観光客へ情報の発信を検討したいとの答弁がありました。「本庁舎12階の展望回廊について」の質問で各種展示をすべきと提言し、一部をギャラリーにできるように検討したいとの答弁がありました。ほか「補装具の購入及び修理費用の委任払いについて」「市立病院の駐車場について」「教員用パソコン」など質問しました。決算委員会では、国保会計「特定健診の受診率と対策、紛失金の対応について」などを質問しました。

【林 光仁 議員】

「若者の雇用対策について」、ミスマッチを防ぎ、U・I・Jターンの若者のワークスポット(求人求職情報)の体制化にむけ、協議していくと答弁がありました。「水

道行政につ

いて」、給水訓練の、具体的計画を29年度まで策定し、



30年度の次期水道ビジョンの中に課題として位置付ける。消火・給水操作マニュアルは、先行して策定に取り組むと答弁。水道メーターの分解委託は、障がい者の自立支援の観点から、是非とも取り組みたいと答弁がありました。ほか「生活保護自立支援について」「子供・若者育成支援について」「図書館について」質問しました。

【藤田 広美 議員】



視覚障がい者の支援に、大活字本を日常生活用具に加えて購入補助を提案。できるだけ早く導入を目指すとの答弁がありました。タブレット型端末を活用したテレビ電話の相談支援では、29年度中に手話や文字で相談できる電話リレーサービスを本格実施すると答弁。

タブレット型端末を活用した音声文字変換システムの導入も提案。「手話言語条例の制定」は平成29年4月施行を目指し、施策を推進する方針は調査検討すると答弁がありました。ほか「いじめ問題について」「情報教育について」「道徳教育について」質問しました。

補正予算では、振り込め詐欺防止で自動通話録音機20台を購入し、10月から貸出しを実施。平成29年4月を目指して消費者教育推進計画を策定すると答弁がありました。

【大西 厚子 議員】



「新生児聴覚検査について」全ての赤ちゃんに実施する取り組みと公費助成を求めました。受診状況の全体的な把握と周知・啓発・受診勧奨に努め、公費助成は、国の一律補助の動向をみるとの答弁。「総合福祉会館の建築及び修繕の補助金について」、建て替えによる現会館の解体費用の支援も含め検討し、町内会の負担軽減に

つながるよう、28年度中に制度の大枠を決め、30年度実施に向けて取り組むと答弁がありました。

ほか「多胎児妊婦健診」「認可地縁団体」「耳マーク」「投票所」について質問しました。決算委員会では、「特定保健指導の終了率向上について」「下水道の耐震化について」などを質問しました。

【池田 謙次 議長】



議会改革では、ハード面、今回から、決算委員会も一問一答を導入。さらには、議会ルールのベースとなる「議会基本条例」も、勉強会や検討委員会を通し、全会派一致で作成を合意。ソフト面では、市民の皆様により身近な議会として、初めて、8月に議場開放と、9月定例会初日のお昼に「議場コンサート」を開催。議場が、初の満員となりました。さらに、今後も市民の皆様にあふれる、より身近な存在としての議会を目指して参ります。